

バイオガス化事業に係るサウンディング型市場調査 結果概要

1. 調査目的

燃やすごみに含まれる生ごみを対象としたバイオガス化事業の導入にあたって、具体的な事業手法や施設整備等について、民間事業者の知見やノウハウ及び意向等を把握し、より良い提案を幅広く収集することを目的とし、サウンディング調査を実施しました。

2. 調査スケジュール

サウンディング調査実施スケジュールは以下のとおりです。

- ・令和2年7月31日（金） 募集開始
- ・令和2年8月11日（火） 現地見学会の受付〆切
- ・令和2年8月18日（火） 現地見学会実施（9事業者参加）
- ・令和2年8月25日（火） 質問の受付〆切
- ・令和2年9月2日（水） 質問に対する回答
- ・令和2年9月23日（火） サウンディング調査の受付〆切
- ・令和2年9月29日（火）～
令和2年9月30日（水） サウンディング調査実施（6事業者参加）

3. 調査内容

サウンディング調査は、主に以下の項目について行いました。

- ① 施設の概要、必要面積、規模、概略配置図等
- ② 事業スケジュール
- ③ 事業手法、事業スキーム、事業範囲等
- ④ 概算事業費
- ⑤ リスク分担
- ⑥ その他事業実施に際しての本市への要望

4. 調査結果

調査結果は下表のとおりです。

参加した6事業者から、バイオガス化施設の運営を民間事業者が行う官民連携等による事業手法として、公設民営・PFI方式及び民間事業方式の提案がありました。また、処理方式について、生ごみだけでメタン発酵を行う湿式と、紙や木くず等の生ごみ以外の燃やすごみと併せてメタン発酵を行う乾式の提案があったため、これらを整理し、3つのグループに分類しました。

なお、施設整備に必要な事業用地の検討ケースは、いずれの事業者においてもケースAで整備可能という結果でした。

表 サウンディング調査結果

グループ	I	II	III
事業手法	公設民営・PFI	公設民営・PFI	民間事業
処理方式	湿式	乾式	湿式
処理対象物	生ごみ	生ごみ、 紙や木くず等の 燃やすごみ	生ごみ
提案事業者数	3事業者	2事業者	1事業者

※ 上記以外の項目についても、参加事業者の皆さまから様々なご意見・ご提案をいただきましたが、各事業者の知見・ノウハウ等の知的財産保護の観点から、詳細については公表を差し控えさせていただきます。

5. 今後について

今回のサウンディング調査により、民間事業者が参加するバイオガス化事業の事業手法等、希望する事業実施条件を把握することができました。

これらの提案内容については、今後のバイオガス化事業の検討において参考とさせていただきます。